



Microsoft Excelのサンプル レポート

Active IQ Unified Manager

NetApp
October 15, 2025

目次

Microsoft Excelのサンプル レポート	1
総容量表とグラフを表示するレポートを作成する	1
合計合計と利用可能な容量のグラフを表示するレポートを作成します	3
利用可能なボリューム容量チャートを表示するレポートを作成します	7
利用可能なIOPSが最も高いアグリゲートを表示するレポートを作成する	9

Microsoft Excelのサンプル レポート

ここでは、Microsoft Excelのサンプル レポートをとおして、Excelの高度な機能を使用したレポート オプションを紹介します。

Excelの高度な機能により、ニーズに合わせたさまざまなレポートを作成することができます。Excelの詳細な使用方法については、製品ドキュメントを参照してください。



レポートを操作するには、アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

総容量表とグラフを表示するレポートを作成する

合計および集合縦棒グラフ形式を使用して、容量を分析するためのレポートをExcelファイルで作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

以下の手順に従って、「ヘルス: すべての集計」ビューを開き、Excel でビューをダウンロードし、使用可能な容量チャートを作成し、カスタマイズされた Excel ファイルをアップロードして、最終レポートをスケジュールします。

手順

1. 左側のナビゲーション ペインで、ストレージ > アグリゲート をクリックします。
2. レポート > **Excel** のダウンロード を選択します。



ブラウザによっては、ファイルを保存するために「OK」をクリックする必要がある場合があります。

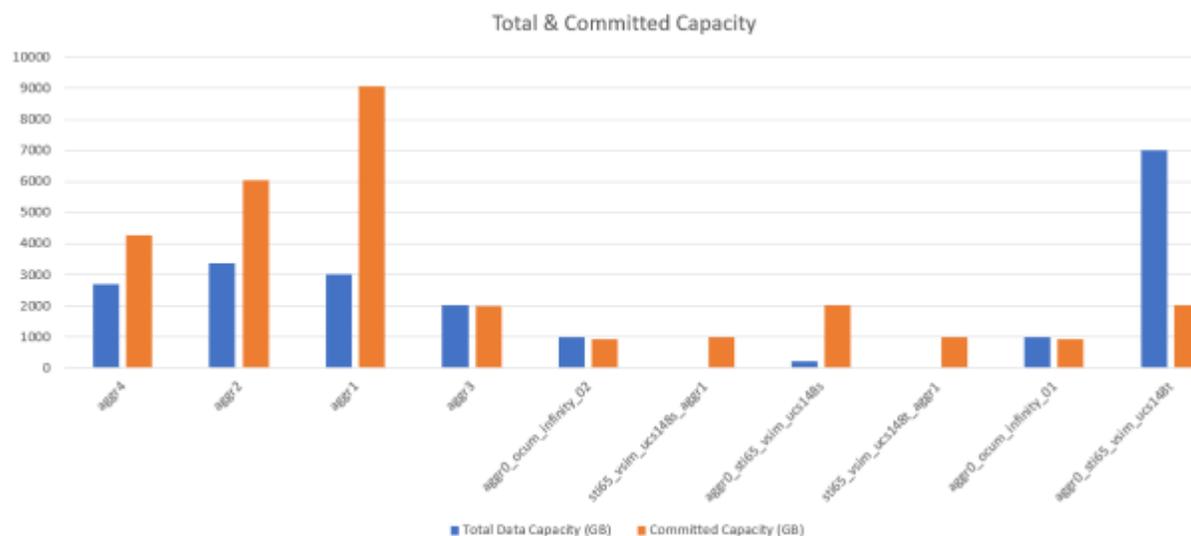
3. 必要に応じて、[編集を有効にする]をクリックします。
4. ダウンロードしたファイルをExcelで開きます。
5. 新しいシートを作成する（）の後に `data` シートに「**Total Data Capacity**」という名前を付けます。
6. 作成したTotal Data Capacityシートに次の列を追加します。

- a. 合計データ容量 (GB)
 - b. コミット済み容量 (GB)
 - c. 使用済みデータ容量 (GB)
 - d. 使用可能なデータ容量 (GB)
7. 各列の最初の行に、次の式を入力します。必ず、dataシート (data!) を参照し、キャプチャされたデータの正しい列と行を参照してください (Total Data CapacityはE列の2~20行目からデータを取得します)。
- a. =SUM(data!E\$2:data!E\$20)
 - b. =SUM(data!F\$2:data!F\$50)
 - c. =SUM(data!G\$2:data!G\$50)
 - d. =SUM(data!H\$2:data!H\$50)

この式は、現在のデータに基づいて各列の値を合計します。

Total Data Capacity (GB)	Committed Capacity (GB)	Used Data Capacity (GB)	Available Data Capacity (GB)
5380.31	6892.47	11764.27	3911.03

1. データシートで、合計データ容量 (GB) 列と コミット容量 (GB) 列を選択します。
2. *挿入*メニューから*推奨グラフ*を選択し、*集合縦棒*グラフを選択します。
3. チャートを右クリックして「チャートを移動」を選択すると、チャートが `Total Data Capacity` シート。
4. グラフを選択すると表示される デザイン メニューと 書式 メニューを使用して、グラフの外観をカスタマイズできます。
5. 問題がなければ、変更したファイルを保存します。ファイルの名前や場所は変更しないでください。



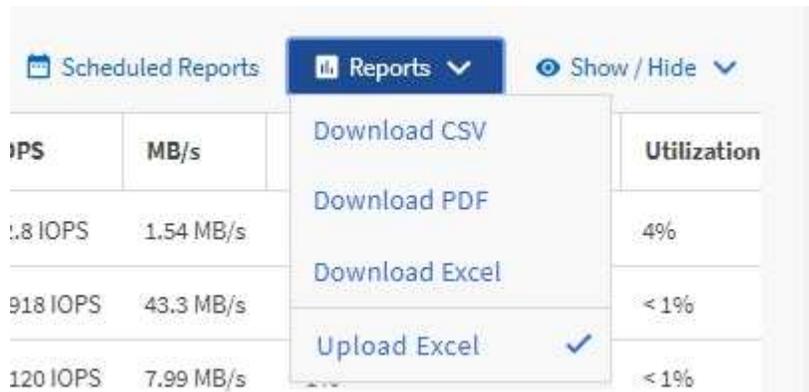
6. Unified Manager で、レポート > **Excel** のアップロード を選択します。



Excelファイルをダウンロードしたときと同じビューが表示されていることを確認してください。

7. 変更したExcelファイルを選択します。
8. *開く*をクリックします。
9. *送信*をクリックします。

レポート > **Excel** のアップロード メニュー項目の横にチェックマークが表示されます。



10. *スケジュールされたレポート*をクリックします。
11. 新しいレポートのスケジュール特性を定義できるように、「スケジュールの追加」をクリックして「レポート スケジュール」ページに新しい行を追加します。



レポートの **XLSX** 形式を選択します。

12. レポートスケジュールの名前を入力し、他のレポートフィールドを入力して、チェックマーク (✓) を行の末尾に追加します。

テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、どうすればネットワーク全体で使用可能容量を有効に利用できるかを調べることができます。

合計合計と利用可能な容量のグラフを表示するレポートを作成します

ストレージの合計容量とコミット済み容量を分析するためのExcelグラフ形式のレポートを作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

以下の手順に従って、「ヘルス: すべての集計」ビューを開き、Excel でビューをダウンロードし、合計容量とコミット容量のチャートを作成し、カスタマイズされた Excel ファイルをアップロードして、最終レポートをスケジュールします。

手順

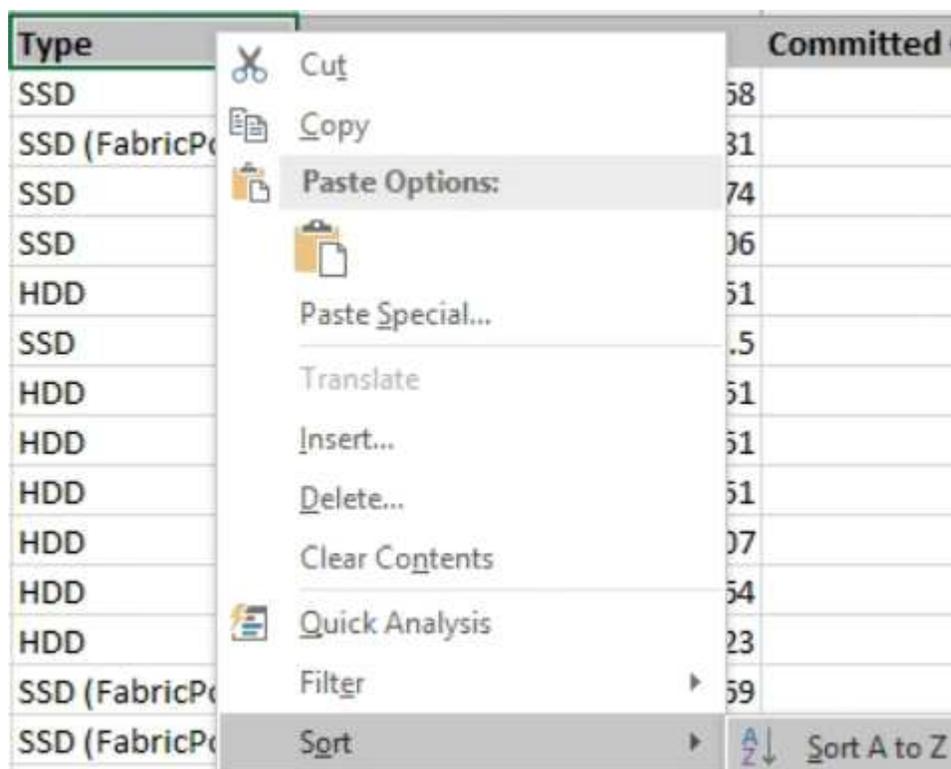
1. 左側のナビゲーション ペインで、ストレージ > アグリゲート をクリックします。

2. レポート > **Excel** のダウンロード を選択します。



ブラウザによっては、ファイルを保存するために「OK」をクリックする必要がある場合があります。

3. ダウンロードしたファイルをExcelで開きます。
4. 必要に応じて、[編集を有効にする]をクリックします。
5. データシートで、[タイプ]列を右クリックし、[並べ替え] > [AからZの並べ替え] を選択します。



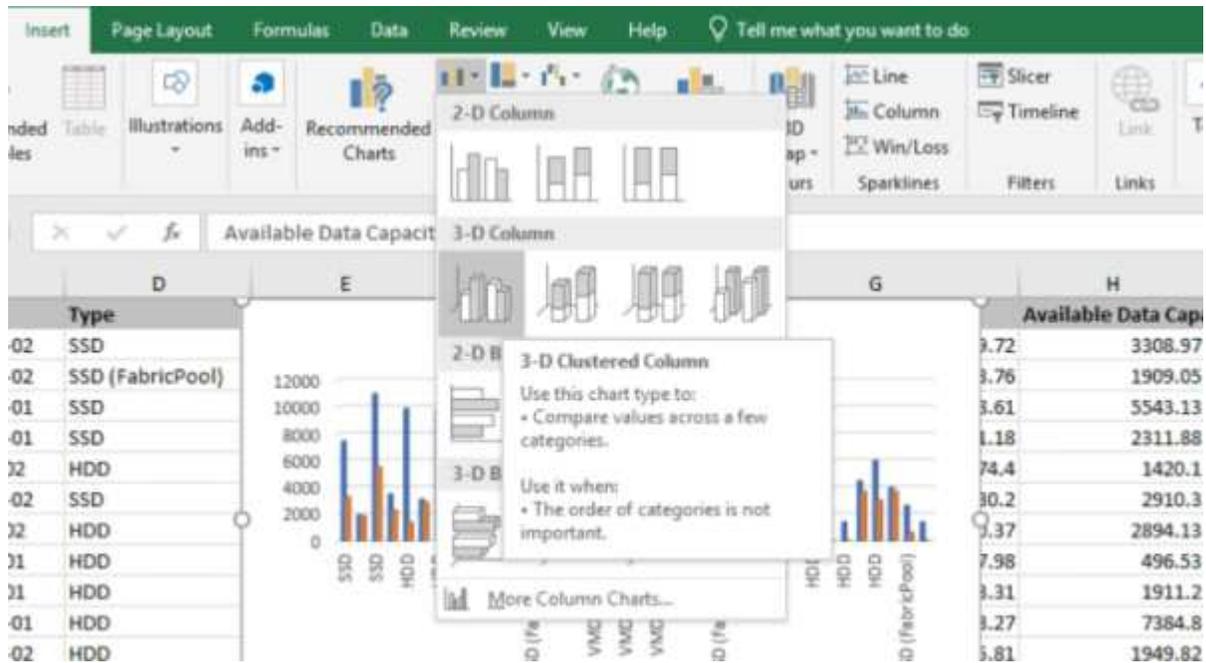
次のようなストレージタイプ別にデータが並べ替えられます。

- HDD
- ハイブリッド
- SSD

◦ SSD (FabricPool)

6. 選択してください `Type, Total Data Capacity,`そして `Available Data Capacity`列。
7. *挿入*メニューで、`3-D column`チャート。

グラフがdataシートに表示されます。



8. グラフを右クリックし、[グラフの移動] を選択します。
9. *新しいシート*を選択し、シートに*Total Storage Charts*という名前を付けます。



infoシートとdataシートのあとに新しいシートが表示されることを確認してください。

10. グラフのタイトルに「合計容量と使用可能な容量」という名前を付けます。
11. グラフを選択すると表示される デザイン メニューと 書式 メニューを使用して、グラフの外観をカスタマイズできます。
12. 問題がなければ、変更したファイルを保存します。ファイルの名前や場所を変更しないでください。

の末尾に追加します。

テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、アグリゲートの負荷を分散できます。

利用可能なボリューム容量チャートを表示するレポートを作成します

使用可能なボリューム容量を分析するためのExcelグラフ形式のレポートを作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

以下の手順に従って、「ヘルス: すべてのボリューム」ビューを開き、Excel でビューをダウンロードし、使用可能な容量チャートを作成し、カスタマイズされた Excel ファイルをアップロードし、最終レポートをスケジュールします。

手順

1. 左側のナビゲーション ペインで、ストレージ > ボリューム をクリックします。
2. レポート > **Excel** のダウンロード を選択します。



ブラウザによっては、ファイルを保存するために「OK」をクリックする必要がある場合があります。

3. 必要に応じて、[編集を有効にする]をクリックします。
4. ダウンロードしたファイルをExcelで開きます。
5. オンザ data シートで、使用したいデータを選択します。 `Volume`そして `Available Data` 列。
6. *挿入*メニューで、 3-D piechart.

使用可能なスペースが最も多いボリュームがグラフに表示されます。グラフがdataシートに表示されま

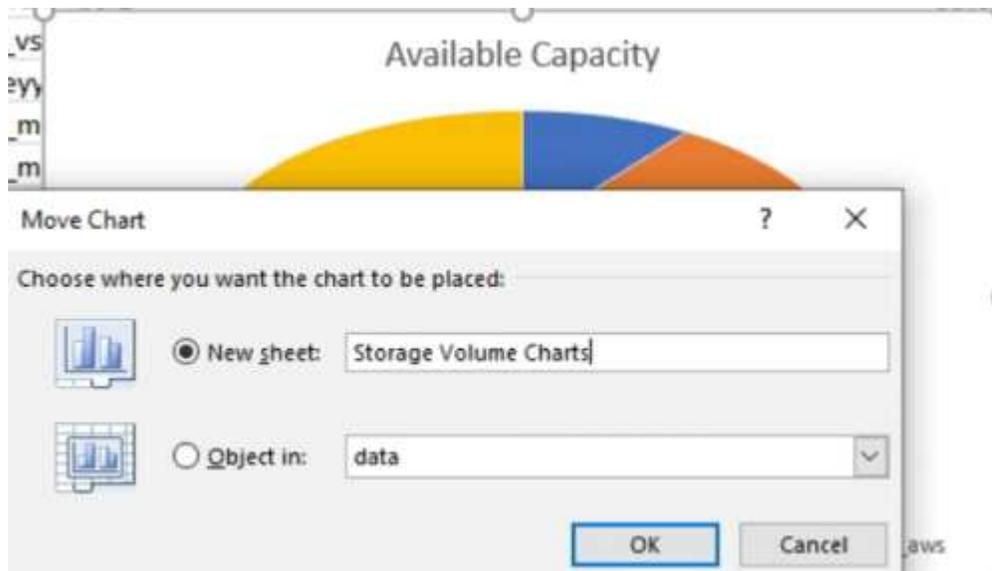


ネットワーク設定によっては、列全体を選択したり、選択したデータ行が多すぎると、円グラフが読めなくなることがあります。このサンプルでは3-D円グラフを使用していますが、任意のグラフタイプを使用できます。キャプチャするデータが適切に表示されるグラフを使用してください。

7. グラフのタイトルに「使用可能な容量」という名前を付けます。
8. グラフを右クリックし、[グラフの移動] を選択します。
9. *新しいシート*を選択し、シートに*ストレージボリュームチャート*という名前を付けます。



infoシートとdataシートのあとに新しいシートが表示されることを確認してください。



10. グラフを選択すると表示される デザイン メニューと 書式 メニューを使用して、グラフの外観をカスタマイズできます。
11. 問題がなければ、変更したファイルを保存します。
12. Unified Manager で、レポート > **Excel** のアップロード を選択します。



Excelファイルをダウンロードしたときと同じビューが表示されていることを確認してください。

13. 変更したExcelファイルを選択します。
14. *開く*をクリックします。
15. *送信*をクリックします。

レポート > **Excel** のアップロード メニュー項目の横にチェックマークが表示されます。

Scheduled Reports		Reports	Show / Hide
IOPS	MB/s		Utilization
1.8 IOPS	1.54 MB/s	Download CSV	4%
918 IOPS	43.3 MB/s	Download PDF	< 1%
120 IOPS	7.99 MB/s	Download Excel	< 1%
		Upload Excel <input checked="" type="checkbox"/>	

16. *スケジュールされたレポート*をクリックします。
17. スケジュールの追加 をクリックして、レポート スケジュール ページに新しい行を追加し、新しいレポートのスケジュール特性を定義できるようにします。
18. レポートスケジュールの名前を入力し、他のレポートフィールドを入力して、チェックマーク (✓) を行の末尾に追加します。



レポートの **XLSX** 形式を選択します。

テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、ボリュームの負荷を分散できます。

利用可能なIOPSが最も高いアグリゲートを表示するレポートを作成する

このレポートは、使用可能なIOPSが最も多く、新しいワークロードをプロビジョニング可能なアグリゲートをアグリゲート タイプ別に表示します。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

以下の手順に従って、「ヘルス: すべてのボリューム」ビューを開き、Excel でビューをダウンロードし、使用可能な容量チャートを作成し、カスタマイズされた Excel ファイルをアップロードし、最終レポートをスケジュールします。

手順

1. 左側のナビゲーション ペインで、ストレージ > アグリゲート をクリックします。
2. *表示* ドロップダウンから *パフォーマンス: すべての集計* を選択します。
3. *表示/非表示* を選択して表示します `Available IOPS` 列を非表示にして `Cluster FQDN, Inactive Data Reporting,` そして `Threshold Policy` 列。
4. ドラッグアンドドロップ `Available IOPS` そして `Free Capacity` 隣の列 `Type` カラム。
5. カスタムビューに名前を付けて保存します Available IOPS Per Aggr.

6. レポート > **Excel** のダウンロード を選択します。



ブラウザによっては、ファイルを保存するために「OK」をクリックする必要がある場合があります。

7. 必要に応じて、[編集を有効にする]をクリックします。

8. ダウンロードしたファイルをExcelで開きます。

9. dataシートの左上にある小さい三角形をクリックして、シート全体を選択します。

10. *データ*リボンで、Sort & Filter area.

11. 次の並べ替えレベルを設定します。

a. *並べ替え*を次のように指定します Available IOPS (IOPS) 、*ソートオン*として Cell Values, `そして*順序*は `Largest to Smallest.

b. *レベルの追加*をクリックします。

c. 並べ替え*を次のように指定します **Type**、*並べ替えの基準 Cell Values, `そして*順序*は `Z to A.

d. *レベルの追加*をクリックします。

e. *並べ替え*を次のように指定します Free Capacity (GB) , *並べ替え*として Cell Values, `そして*順序*は `Largest to Smallest.

f. [OK]をクリックします。

12. Excelファイルを保存して、閉じます。

13. Unified Manager で、レポート > **Excel** のアップロード を選択します。



Excelファイルをダウンロードしたときと同じビューが表示されていることを確認してください。

14. 変更したExcelファイルを選択します。この場合は performance-aggregates-<date>.xlsx.

15. *開く*をクリックします。

16. *送信*をクリックします。

レポート > **Excel** のアップロード メニュー項目の横にチェックマークが表示されます。

Scheduled Reports		Reports	Show / Hide
IOPS	MB/s		Utilization
1.8 IOPS	1.54 MB/s	Download CSV	4%
918 IOPS	43.3 MB/s	Download PDF	< 1%
120 IOPS	7.99 MB/s	Download Excel	< 1%
		Upload Excel <input checked="" type="checkbox"/>	

17. *スケジュールされたレポート*をクリックします。
18. 新しいレポートのスケジュール特性を定義できるように、「スケジュールの追加」をクリックして「レポート スケジュール」ページに新しい行を追加します。
19. レポートスケジュールの名前を入力し、他のレポートフィールドを入力して、チェックマーク (✓) を行の末尾に追加します。



レポートの **XLSX** 形式を選択します。

テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、使用可能なIOPSが最も多いアグリゲートに新しいワークロードをプロビジョニングできます。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。